

尾久西小学校
警視庁&マクドナルド
みんなの安全を守る
防犯教室を開催!

5月9日、尾久西小学校で警視庁と日本マクドナルドによる防犯教室が開かれました。自分の身を守るための合言葉「いかのおすし」を覚えたり、マクドナルドのキャラクター、ドナルド・マクドナルドと、「こども110番の家」がどこにあるかを歩きながら探しました。また、不審者に遭遇した場面を想定し、「こども110番」になっているマクドナルドの店に駆け込み、助けを求める訓練も実施。本番さながら、みんな真剣な表情で取り組んでいました。



▲「いかのおすし」を全員で声を出して覚えました



▲街中を歩きながら、「こども110番の家」ステッカーを確認



▲店に駆け込んだら何を伝えるかを教えてもらいました

懐かしいあの日の時
思い出写真館

No.39 ゆいの森あらかわができる前

10年以上の準備期間を経て、ゆいの森あらかわは誕生しました。建物ができる前はどんな所だったのでしょうか？下の写真は、荒川自然公園から撮影したものです。工事が始まる前で、もともとあった駐車場などが見えます。もっと前には、都営アパートやメッキ工場などがありました。



▲平成26年10月ごろの写真 ▲平成28年7月ごろの写真

発見いっぱい!
ゆいの森あらかわ探検

あらゆる世代が楽しく活用できる施設として、3月にオープンしたゆいの森あらかわ。広々とした各フロアには、心地よく学び過ごせるスペースや面白いコーナーがいっぱい。その魅力をジュニア記者がレポートしました。



▲ゆいの森あらかわの紹介ビデオを鑑賞。「色々な楽しみ方ができるんだね!」



▲「ゆいの森ホール」は、上映会やイベント等に活用できるスペース。前方の扉を閉めて大きなスクリーンに映像を映すことができます。壁一面に絵本が飾られていて、まるで絵を鑑賞しているかのようです。普段は閲覧席として利用されています



▲エントランスホールでは、テーマを決めて本を展示しています



ゆいの森ホールでは学校の発表会や星空学習もできるんだって



▲3万冊にも及ぶ蔵書を誇り、子どもも大人も楽しめる「えほん館」。ノンフィクション作家・柳田邦男さんが推薦する絵本コーナーもあります



本が大好きなワクワクするね!



本の種類と数が多くてビックリ!

すみちゃん



▲荒川区出身の小説家・吉村昭さんの作品や生涯に触れる「吉村昭記念文学館」は2・3階です。ここでしか見られない貴重な資料が多く、書斎も再現されています



▲「ティーンズコーナー」で本を選んで読書タイム。館内には、約800の座席が用意されています

遊びながら学べるコーナーだよ



▲ゆいの森子どもひろばの「学びラウンジ」では、「こま回し」や「空気の力」など12種類の楽しい実験キットで学ぶことができます



みんなで挑戦!

まちぞう



ほら、見て!まるで本の森!
全部読みたくなるね

▲一般書が並ぶ3階には、小説や文庫、コミック、雑誌などがいっぱい。書棚と閉架書庫を合わせると、ゆいの森あらかわの蔵書規模は約60万冊! CDやDVDも借りられます

▲最上階にあるイングリッシュガーデン風テラス。本を読んだり友だちとおしゃべりしたり、自由に過ごせます



▼静かな「学習室」は全52席。図書館利用カードを使って、端末で座席を予約します

▲5階には備蓄倉庫があります。災害時に帰宅できなくなった人や乳幼児を中心とした避難所として活用できるよう、水や食料、おむつ・粉ミルクなどを蓄えています



いざという時もこれなら安心!